

# 年 頭 所 感

平成25年1月

一般社団法人 石膏ボード工業会  
会 長 須 藤 永 一 郎

新しい年の初めにあたりご挨拶申し上げます。

旧年中は、石膏ボード工業会に対しまして、皆様方の多大なご支援とご協力をいただきましたことを厚く御礼申し上げます。

さて、昨年のわが国の経済は、海外経済の減速による輸出・生産の減少や設備投資の調整、更には個人消費の一服感も見られ、4月から年末にかけて景気後退期に入っております。

しかし、景気が弱含む中で建設関連業界を見ますと、公共事業を主とした建設投資は震災復旧・復興により増加し、又、住宅ローン金利の低水準に加え、住宅エコポイント制度等による投資促進策も下支えした結果、新設住宅着工戸数も底堅く推移して、年間では前年を上回って、87万戸を超えることとなりました。

これに伴い、石膏ボードの出荷量もほぼ毎月前年を上回って推移し、10月には4年振りに月間4千6百万㎡に達し、年間では4億8千万㎡を超えました。

本年の経済は、当面弱含みで推移するものの、対中摩擦の収束等により輸出環境は徐々に回復して行き、後半は消費税の引き上げ前の駆け込み需要が景気を押し上げるものとみられ、新設住宅着工戸数も90万戸まで行くものと思われれます。これに伴い、石膏ボードの出荷量も5億㎡に達するものと期待しております。

弊工業会といたしましては、省令準耐火構造に不可欠な厚さ12.5mm以上の厚手化製品へのシフトや住環境に快適さを提供する高機能製品のPRの他、木造密集地区での防耐火耐震対策や、大型木造建築物の耐火性能を高めるために寄与する製品の積極的な普及活動を進めてまいります。

又、昨今の建物の防耐火性能に対する信頼性向上のご要請に対応すべく、本年のJISの改正に当たり、現状の諸規定を見直し、防耐火性能をより確実に担保するものに致すよう取り組む所存でございます。

従来より重点課題としております環境問題につきましても、講演会の開催やセミナー等への参加を通じて、廃石膏ボードの再資源化の技術開発の推進や啓発活動に尚一層取り組んでまいりますので、今後とも、倍旧のご支援、ご指導の程よろしくお願い申し上げます。

今日までの長年にわたる関係各位のご理解、ご協力に心より感謝申し上げますとともに、皆様方のご多幸とご発展をお祈り申し上げます。